

2023年3月期 第2四半期 決算説明資料

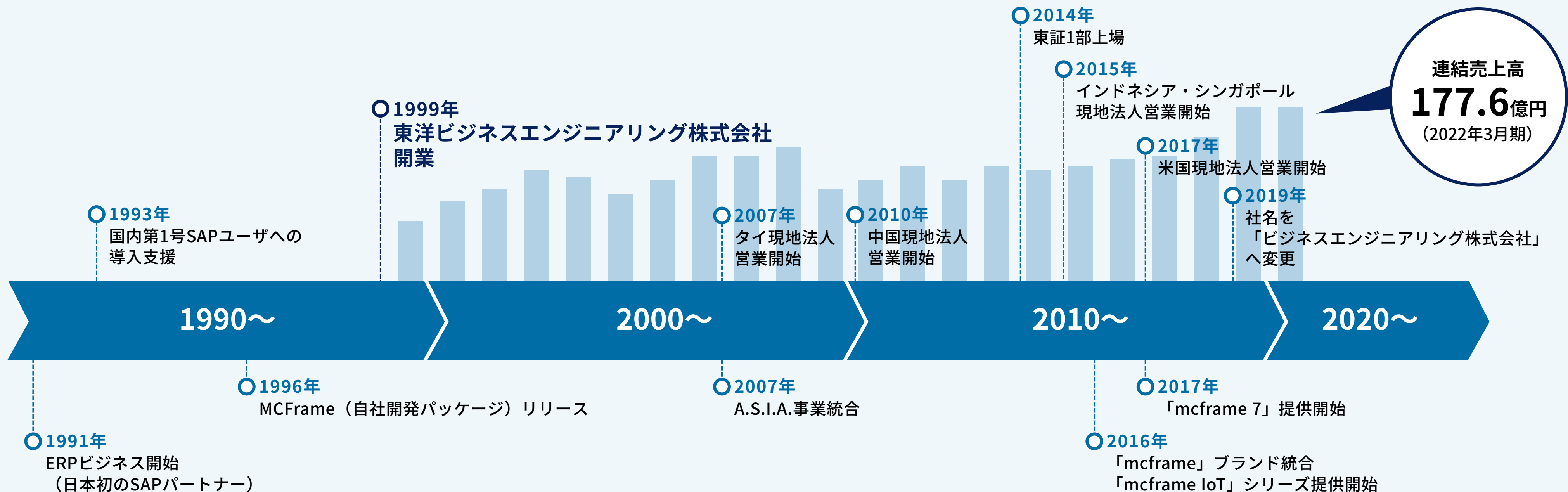
2022年11月11日

ビジネスエンジニアリング株式会社

当社の事業内容

B-EN-Gのビジネス

製造業に対する豊富な知見を活かし「ものづくりのためのIT」を提供。

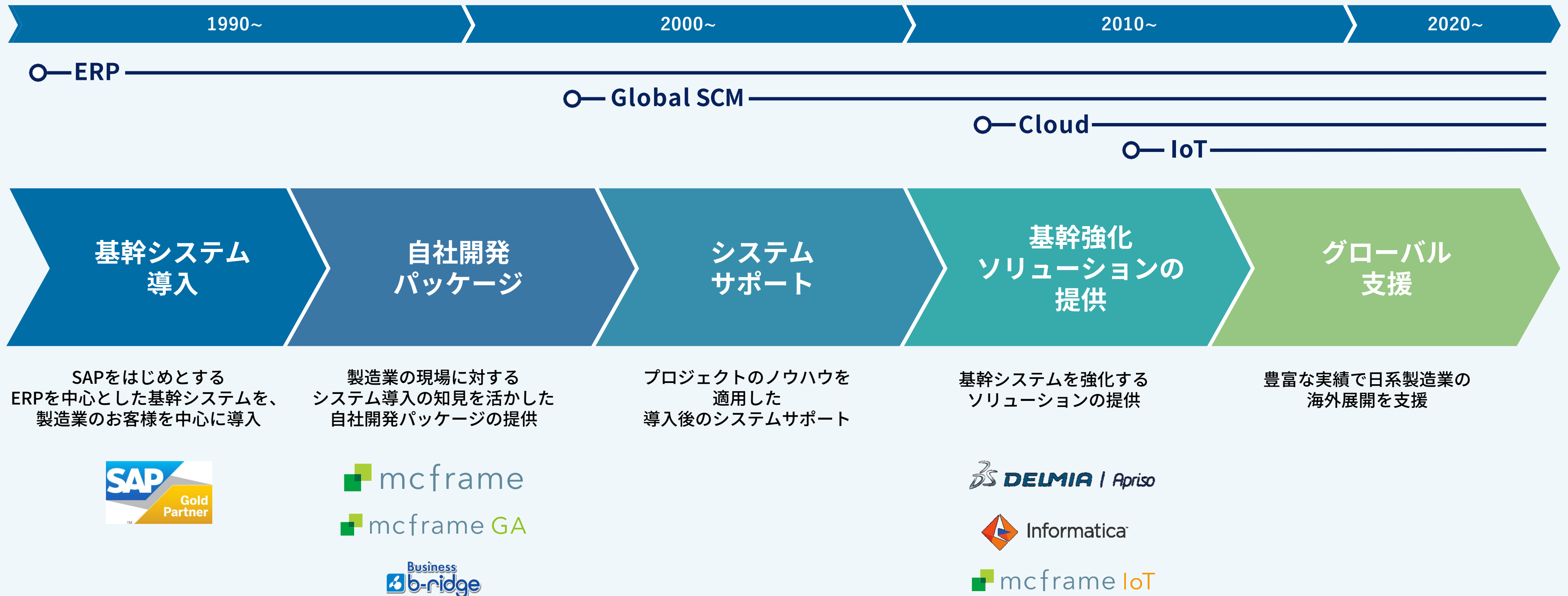


設立：1999年4月
事業拠点：(国内) 東京本社・関西支店・中部営業所
(海外) タイ・中国・シンガポール・インドネシア・米国

資本金：6億9760万円
従業員数：657名 (連結・2022年3月)

B-EN-Gのビジネス

製造業に対する豊富な知見を活かし「ものづくりのためのIT」を提供。



B-EN-Gのビジネス | 3つの事業セグメント

それぞれに特徴のある3つのセグメントで事業を展開。

製造業に関する豊富な知識と経験に基づく
システムインテグレーション

ソリューション事業

SAPをはじめとする他社製の
パッケージ製品をベースとしたSI事業

長年のノウハウを注いで自社開発した、
高い利益率のライセンス販売

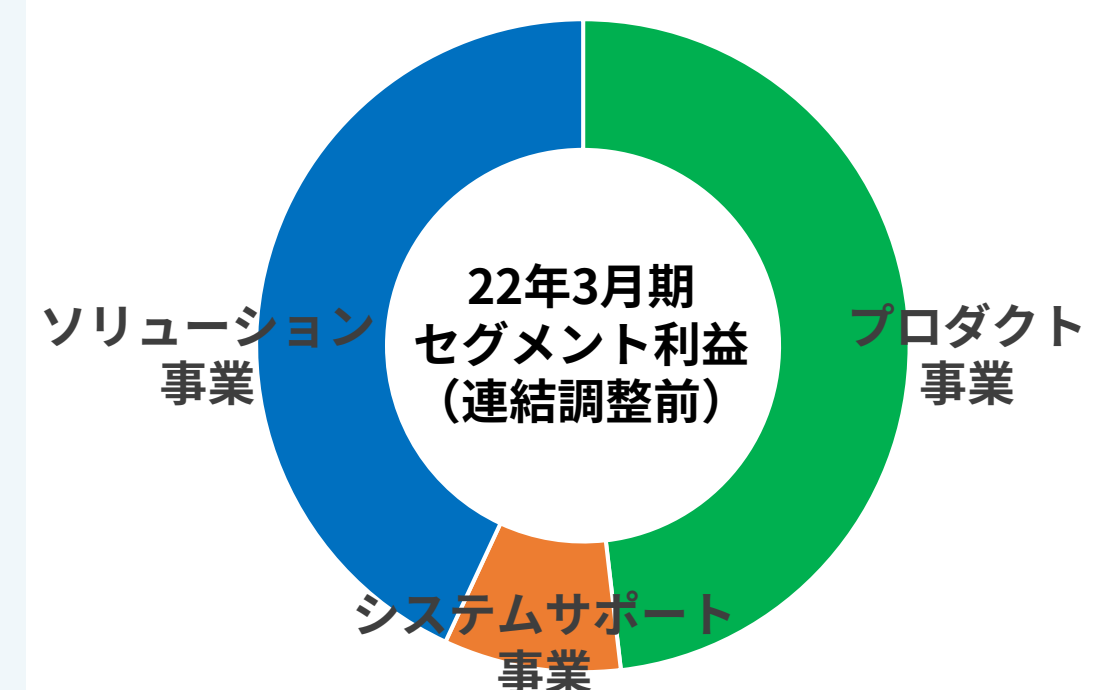
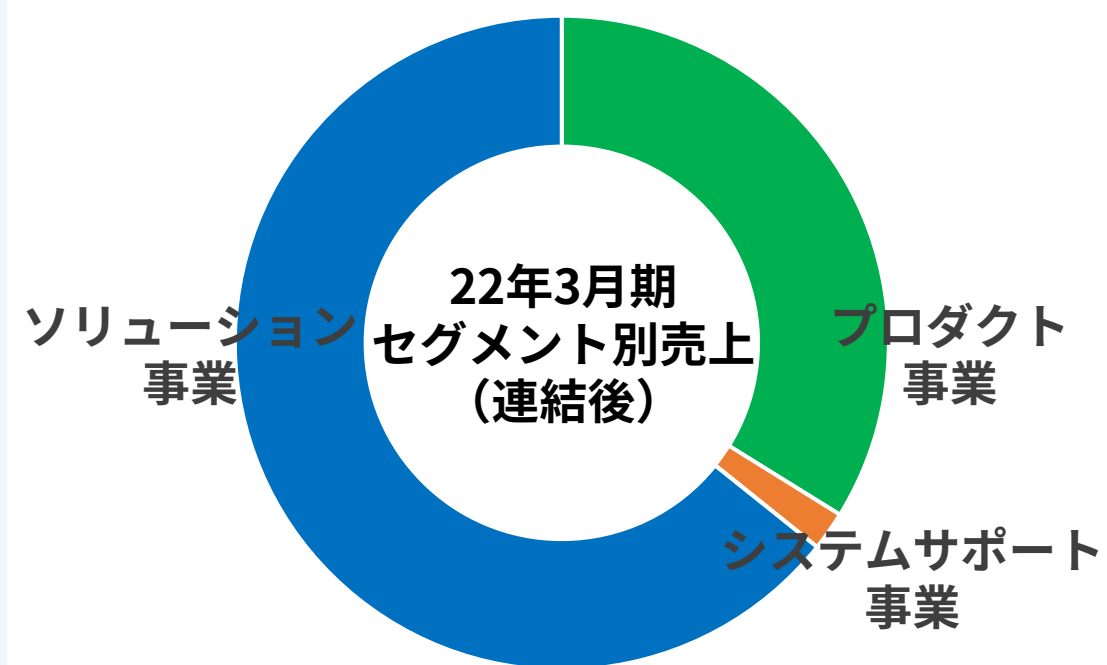
プロダクト事業

自社開発パッケージ「mcframe」シリーズの
開発・販売・導入事業

システムサポート 事業

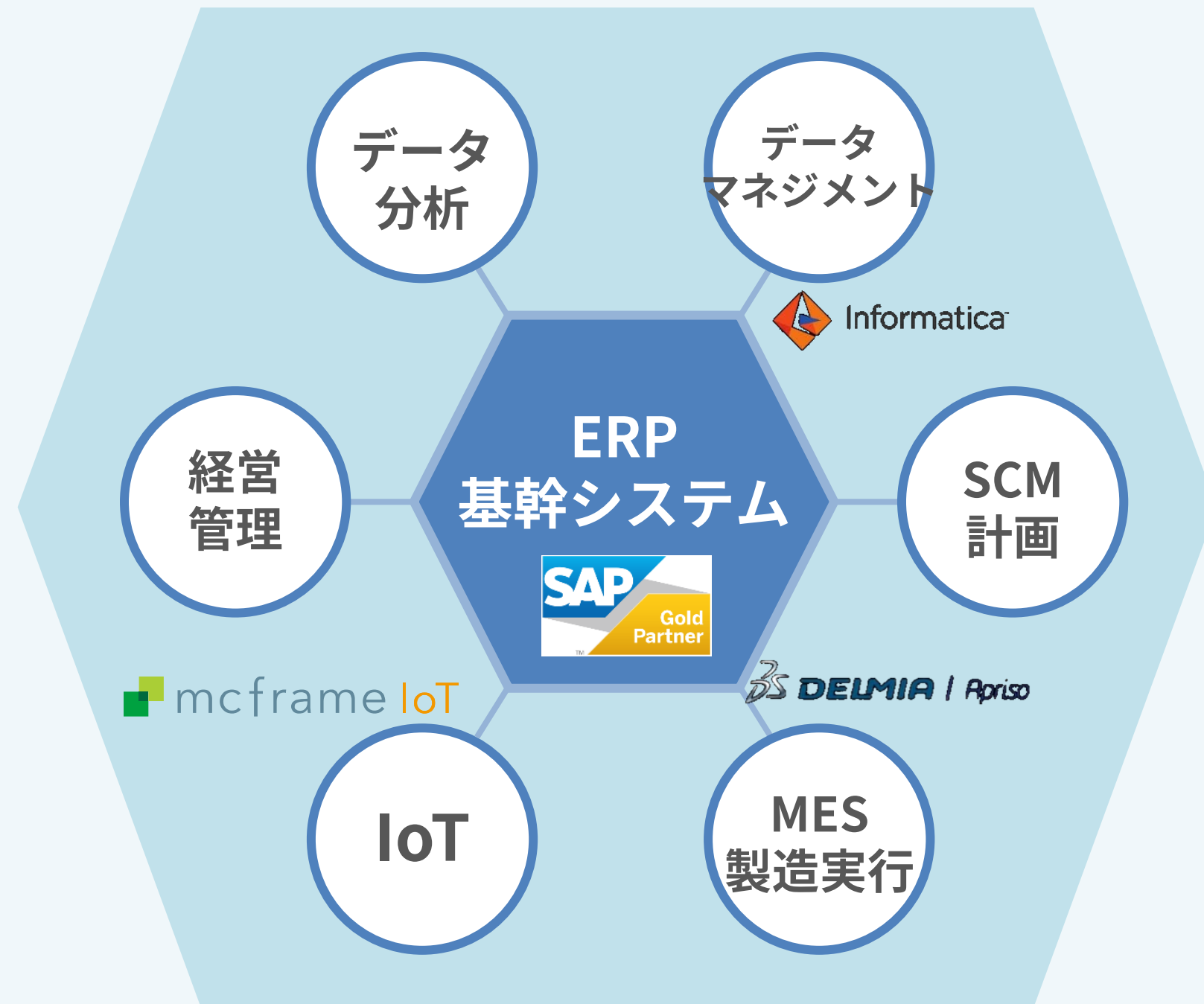
導入後の運用・保守サービス
／システム開発

納入後のシステムを活用する
運用保守サービス

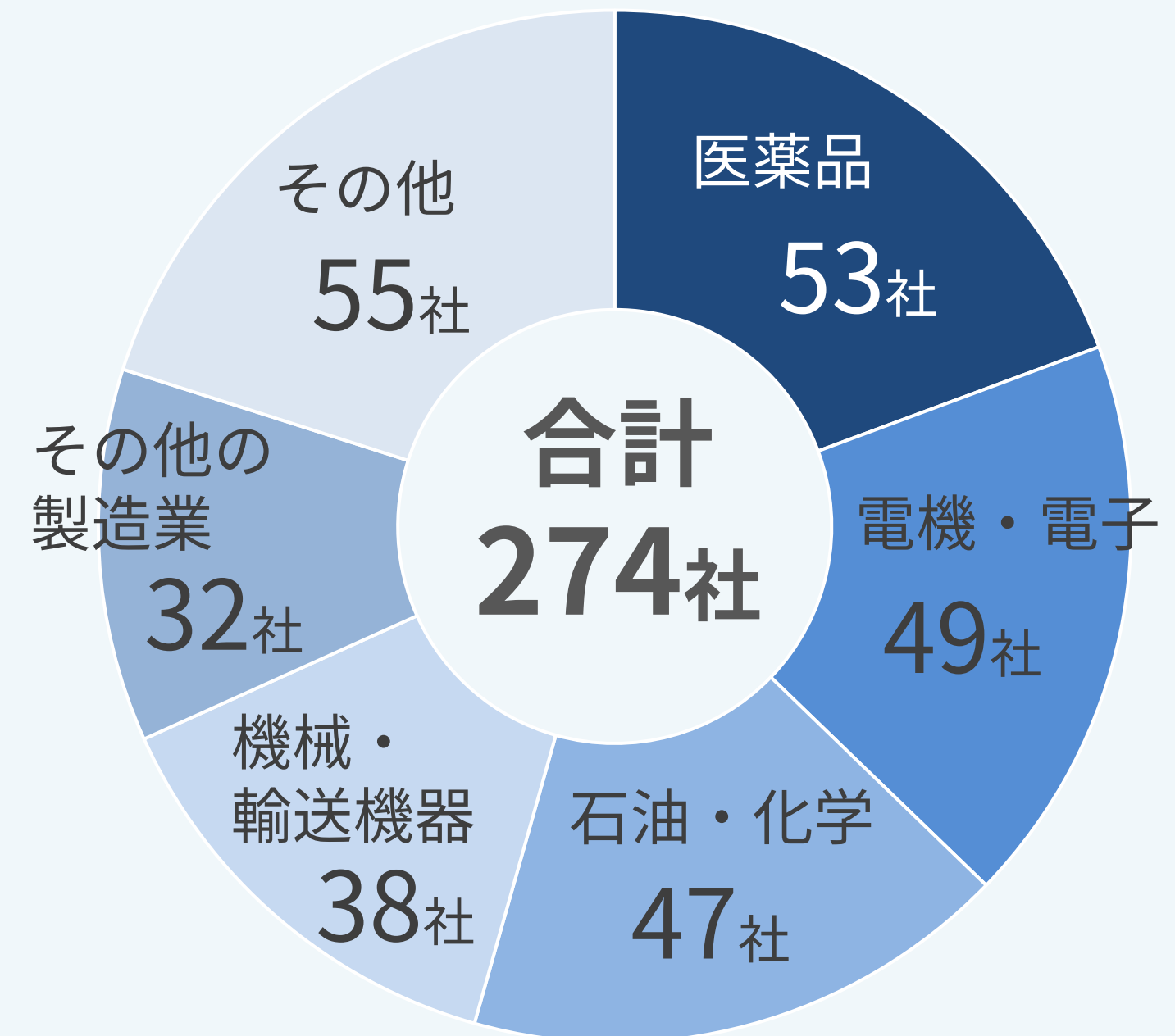


B-EN-Gのビジネス | ソリューション事業

ERP・基幹系システムを中心に、周辺製品との組み合わせによる課題解決型ビジネスを推進。「ものづくりのDX」を実現する。

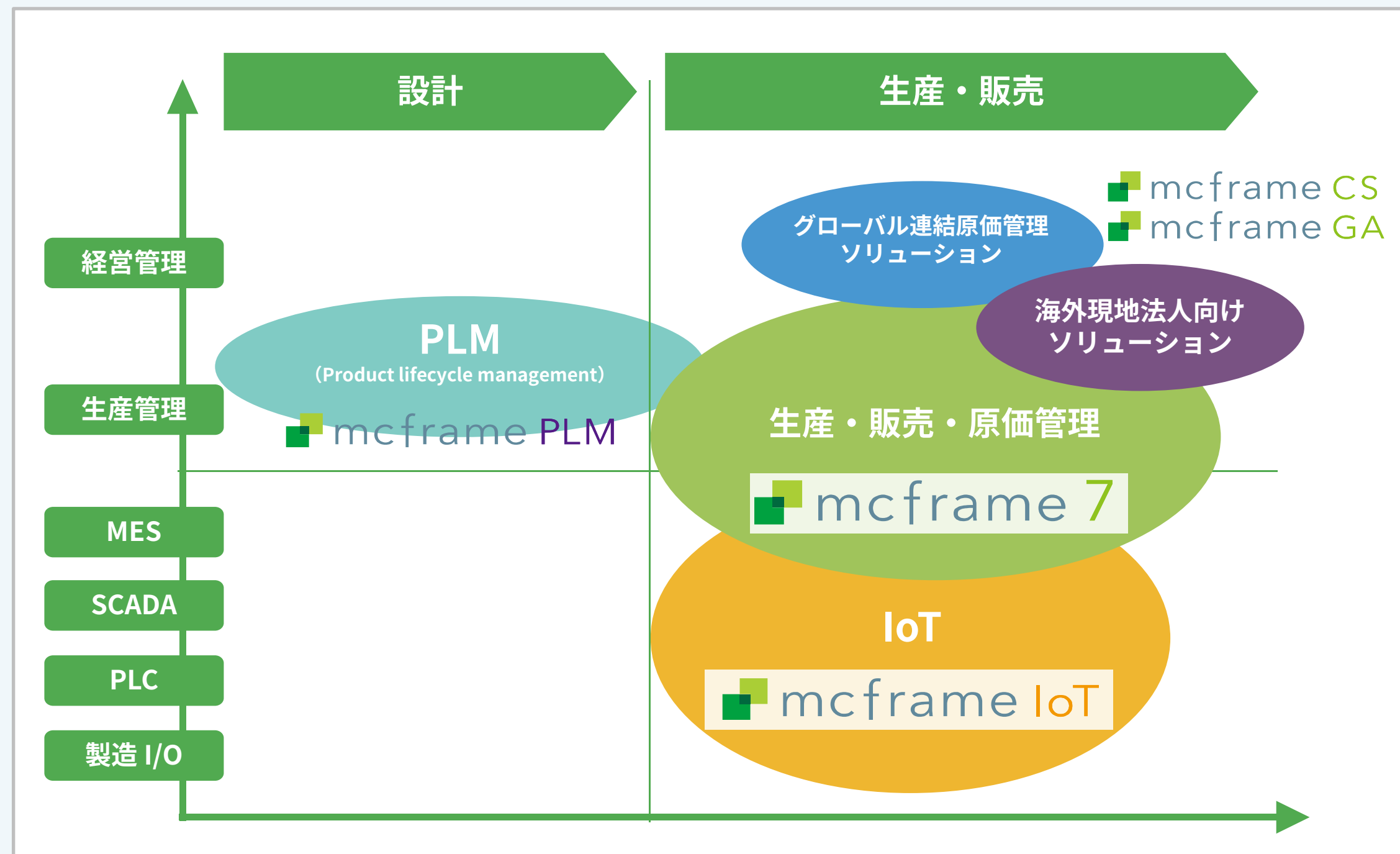


<業界別導入実績 (2022年9月末時点) >

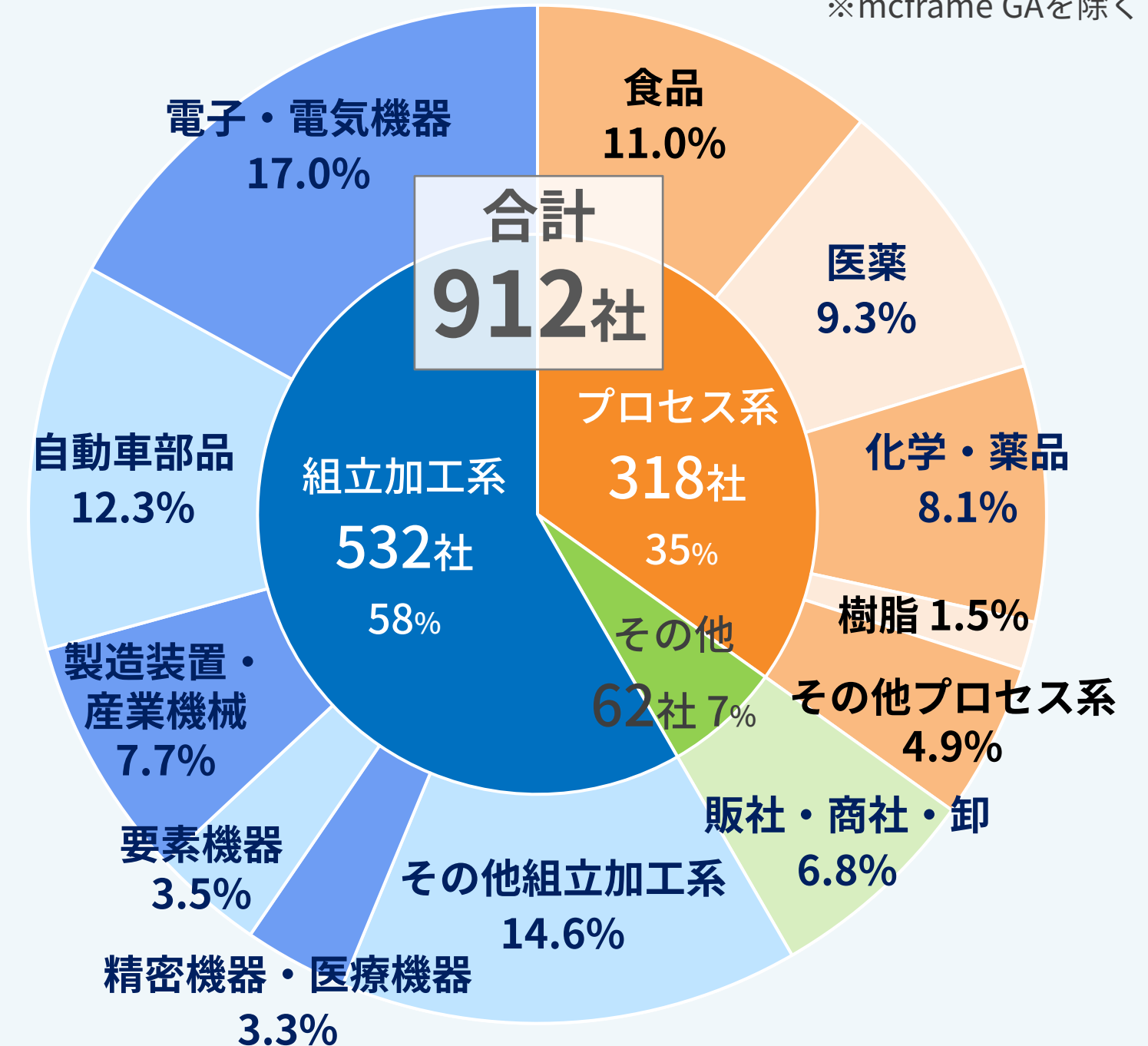


B-EN-Gのビジネス | プロダクト事業

製造業向けソリューション「mcframe」を中心に、エンジニアリングチェーン・サプライチェーンを統合する「ものづくりデジタライゼーション」を実現。



＜業界別累計導入実績（2022年9月末時点）＞
※mcframe GAを除く



2023年3月期 第2四半期 決算の概要

2023年3月期 第2四半期決算のポイント

事業環境

- 資源高の影響などを受けつつも、企業収益は高水準で推移。
- DXニーズの高まりを受け、製造業の情報化投資は総じて堅調。

決算概要

- 売上高 前期同水準
 - 営業利益
 - 経常利益
 - 四半期純利益
- } 5期連続 過去最高を更新
- 中間配当 1株あたり21円

損益の概要（前期比較）

(百万円)	2022年度上期 実績	2021年度上期 実績	差異 (増減率)
売上高	8,859	8,850	8 (+0.1%)
売上総利益 売上総利益率	3,416 (38.6%)	2,902 (32.8%)	514 (+17.7%)
営業利益 営業利益率	1,614 (18.2%)	1,154 (13.0%)	460 (+39.9%)
経常利益 経常利益率	1,620 (18.3%)	1,160 (13.1%)	460 (+39.7%)
四半期純利益 四半期純利益率	1,090 (12.3%)	790 (8.9%)	300 (+38.0%)
受注高	9,160	8,450	709 (+8.4%)

- ソリューション事業の不採算案件抑制
およびプロジェクト採算性向上
 - プロダクト事業のライセンス販売増加
 - システムサポート事業の採算性向上
- により、大幅に増益。

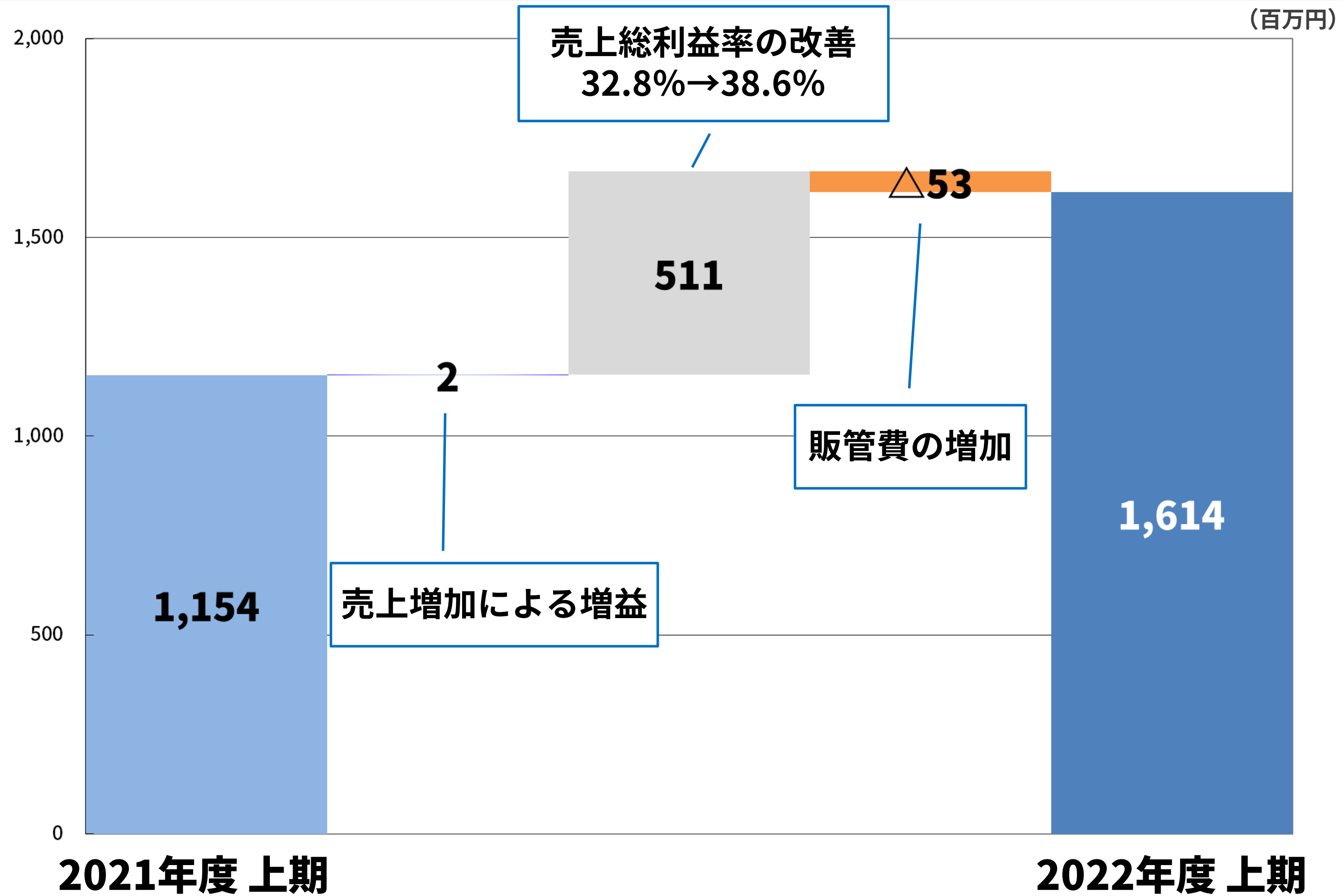
注：本説明資料の記載金額は、全て百万円未満を切り捨てて表示しております。
また、「親会社株主に帰属する当期純利益（四半期純利益）」を
「当期純利益（四半期純利益）」と表示しております。

損益の概要 (2022/8/4業績予想比較)

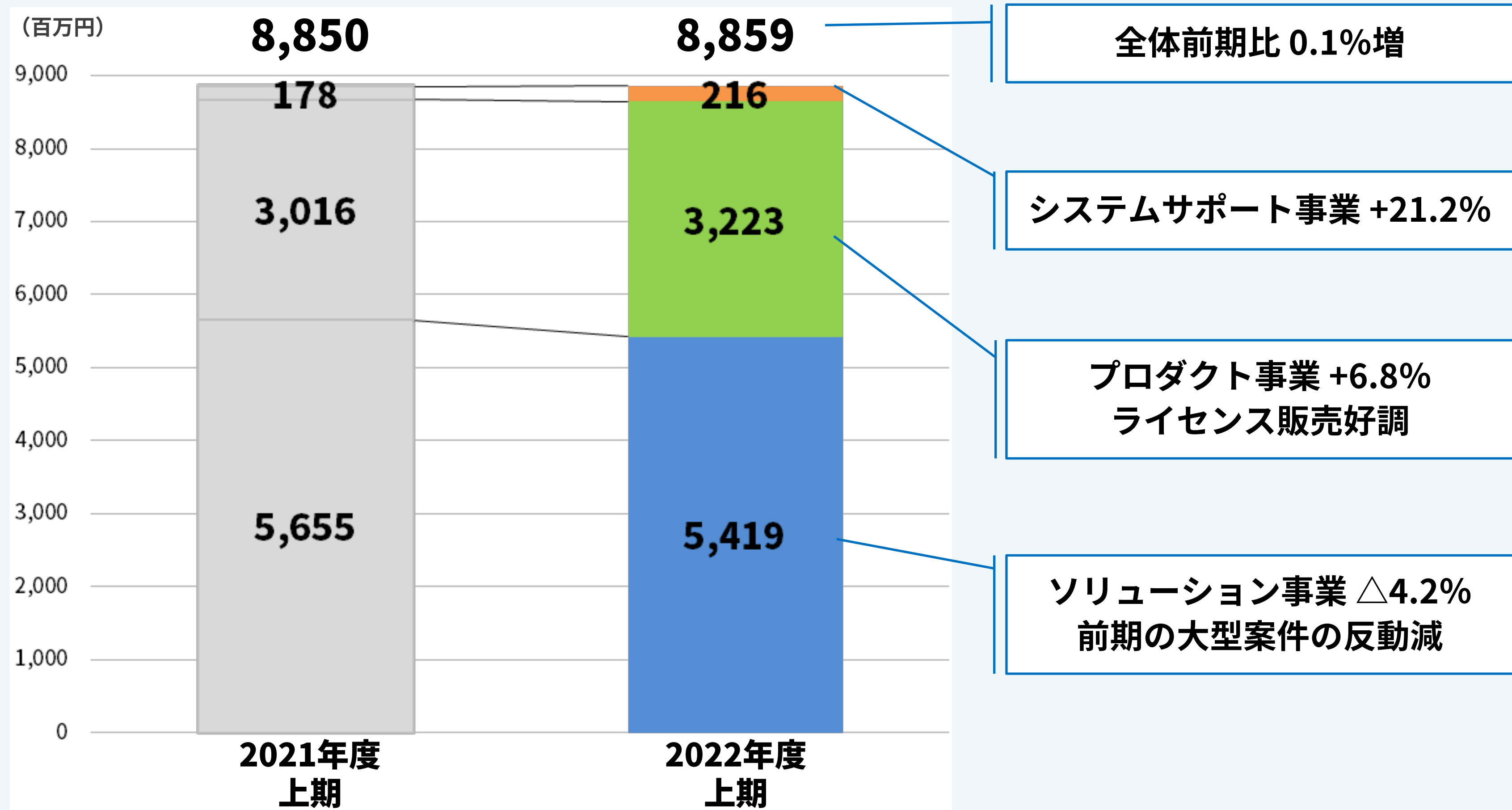
(百万円)	2022年度上期 実績	2022/8/4 業績予想	差異 (増減率)
売上高	8,859	8,900	△ 40 (△0.5%)
売上総利益 売上総利益率	3,416 (38.6%)	3,270 (36.7%)	146 (+4.5%)
営業利益 営業利益率	1,614 (18.2%)	1,430 (16.1%)	184 (+12.9%)
経常利益 経常利益率	1,620 (18.3%)	1,430 (16.1%)	190 (+13.3%)
四半期純利益 四半期純利益率	1,090 (12.3%)	970 (10.9%)	120 (+12.5%)
受注高	9,160	8,900	260 (+2.9%)

- プロダクト事業のライセンス販売増加
 - システムサポート事業の採算性向上
- により、業績予想値を上回る。

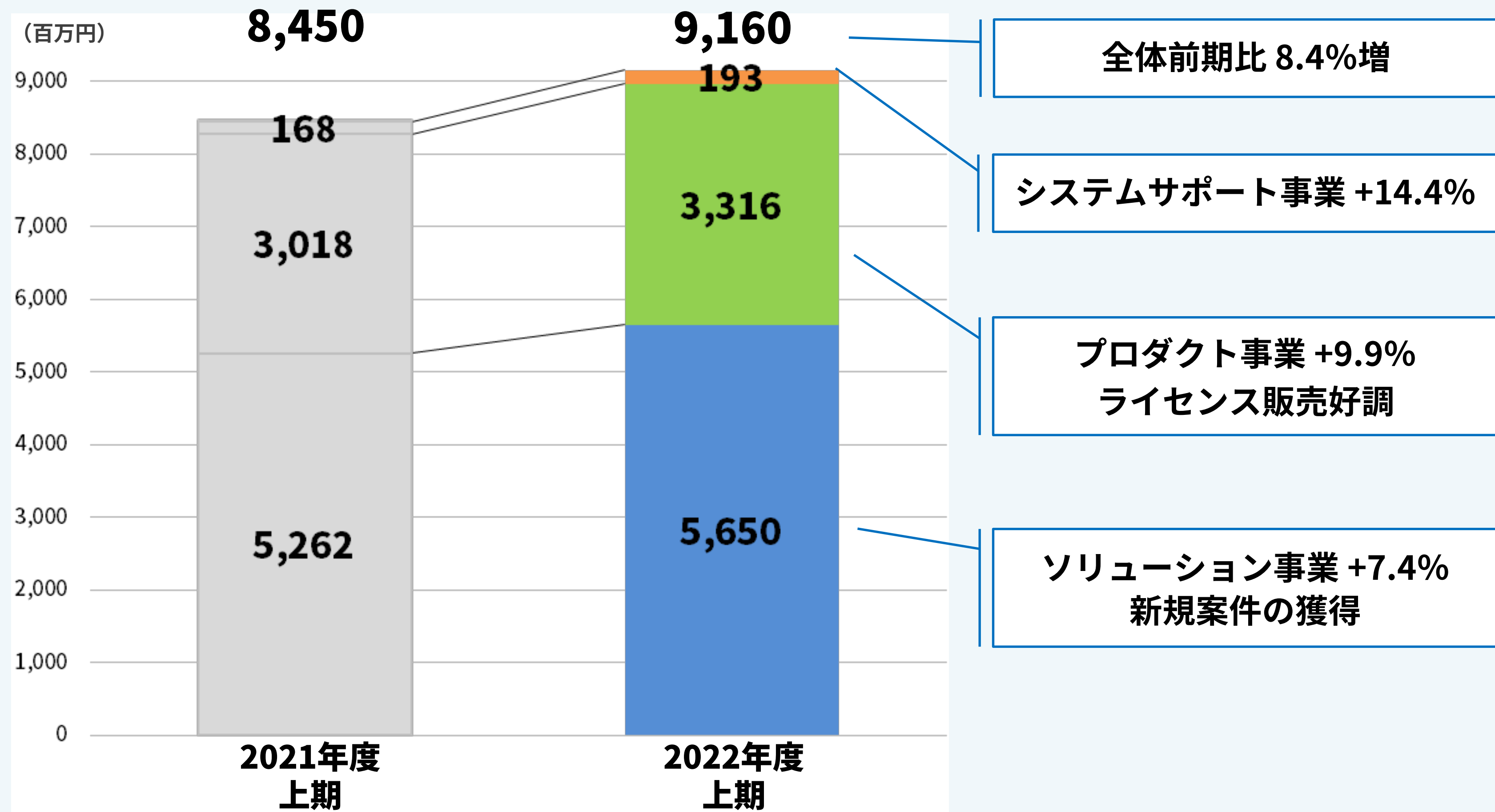
営業利益の増減分析（前期比較）



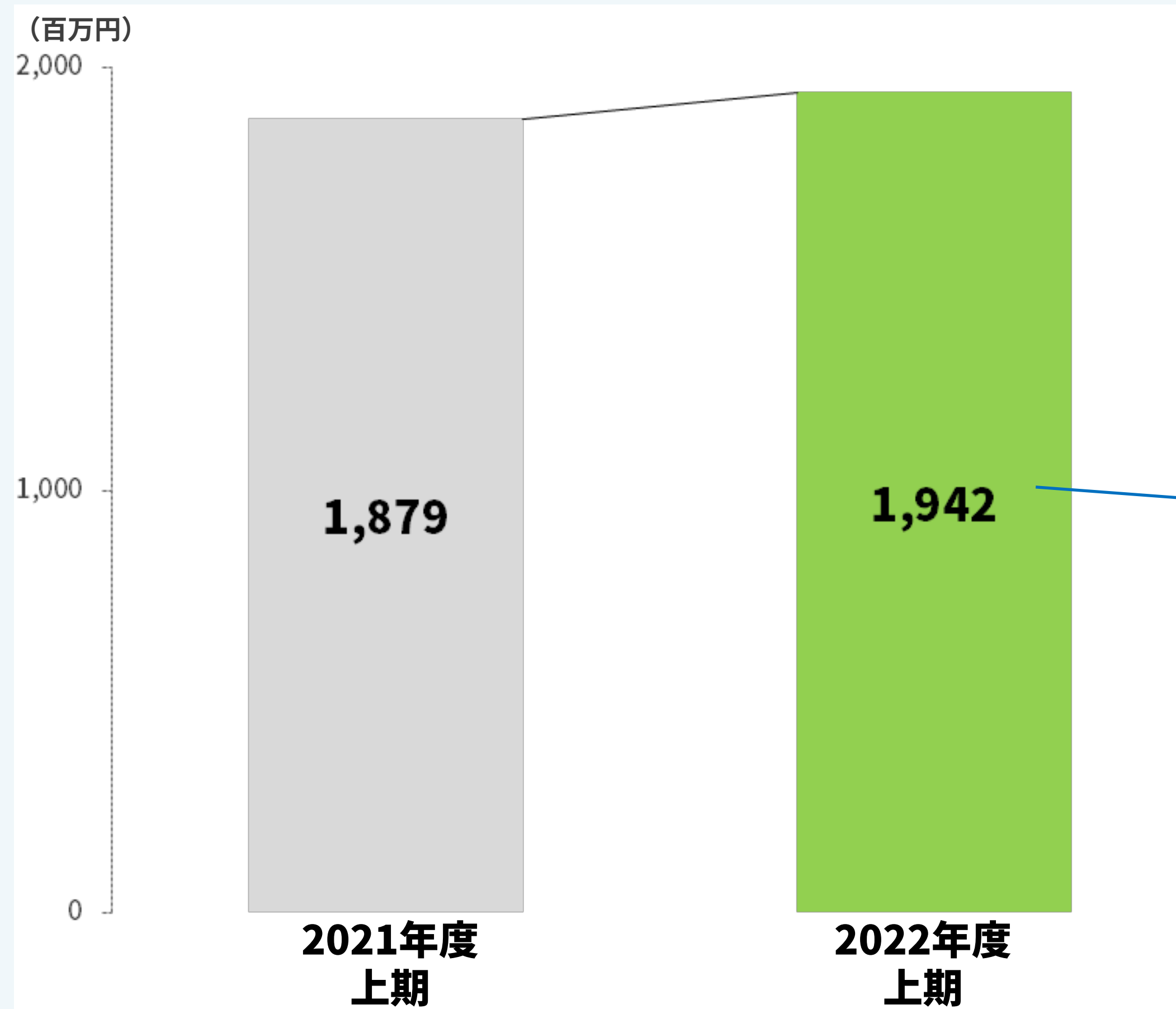
売上高の概要（前期比較）



受注高の概要（前期比較）



ライセンス売上高の概要（前期比較）



前期比 3.4%増
過去最高を更新

貸借対照表の概要（前期比較） | 資産の部

(百万円)

	2022年度上期	2021年度末	増減
現金及び預金	5,871	4,945	925
受取手形、売掛金及び契約資産	3,105	3,468	△363
棚卸資産	69	7	62
その他流動資産	592	445	147
流動資産計	9,638	8,866	771
(比率)	(78.8%)	(77.2%)	
有形固定資産	142	150	△8
無形固定資産	1,317	1,321	△4
投資その他の資産	1,137	1,152	△14
固定資産計	2,597	2,624	△26
(比率)	(21.2%)	(22.8%)	
資産合計	12,235	11,491	744
(比率)	(100.0%)	(100.0%)	

貸借対照表の概要（前期比較） | 負債純資産の部

(百万円)

	2022年度上期	2021年度末	増減
未払勘定	1,090	1,119	△29
短期借入金	-	100	△100
その他流動負債	2,886	2,797	89
流動負債計	3,976	4,016	△39
負債合計	3,976	4,016	△39
(比率)	(32.5%)	(34.9%)	
資本金	697	697	-
資本剰余金	565	565	-
利益剰余金	7,048	6,251	796
自己株式	0	0	0
その他の包括利益累計額	△51	△38	△13
純資産合計	8,259	7,475	783
(比率)	(67.5%)	(65.1%)	
負債純資産合計	12,235	11,491	744
(比率)	(100.0%)	(100.0%)	

キャッシュフローの概要（前期比較）

(百万円)	2022年度 上期	2021年度 上期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,658	124	1,534
投資活動によるキャッシュ・フロー	△325	△422	96
財務活動によるキャッシュ・フロー	△393	△580	187
現金及び現金同等物に係る換算差額	△14	△3	△10
現金及び現金同等物の増減額	925	△882	1,807
現金及び現金同等物の期首残高	4,945	4,078	867
現金及び現金同等物の期末残高	5,871	3,195	2,675

2023年3月期 通期業績予想について

2023年3月期 業績予想のポイント／配当予想

事業環境

- 製造業の情報化投資は、DXニーズが牽引し引き続き堅調に推移するも、グローバルな経営リスクは依然高く、後退懸念は払拭しきれず

業績予想・配当予想

利益予想上方修正（営業利益 26億円 ⇒ 30億円） ・ 配当予想修正（42円 ⇒ 60円）

- 売上高 概ね計画どおり進捗予定。前期比増収予定。

- 営業利益
 - 経常利益
 - 当期純利益
- } 7期連続 過去最高益更新見込。

- 年間配当予想 8期連続増配・過去最高見込。

実質的に前期比増配（前期実績1株実質42円（今年1対2株式分割調整前 84円））

損益の予想 (2022/5/12業績予想比較)

(百万円)	今回 業績予想	2022/5/12 業績予想	差異 (増減率)
売上高	17,900	17,900	-
売上総利益	6,790	6,310	480
売上総利益率	(37.9%)	(35.3%)	(+7.6%)
営業利益	3,000	2,600	400
営業利益率	(16.8%)	(14.5%)	(+15.4%)
経常利益	3,000	2,600	400
経常利益率	(16.8%)	(14.5%)	(+15.4%)
当期純利益	2,100	1,770	330
当期純利益率	(11.7%)	(9.9%)	(+18.6%)
受注高	18,000	18,000	-
配当 (単体)	60.0円	42.0円	+18.0円
ROE	25.4%	21.8%	+3.6%

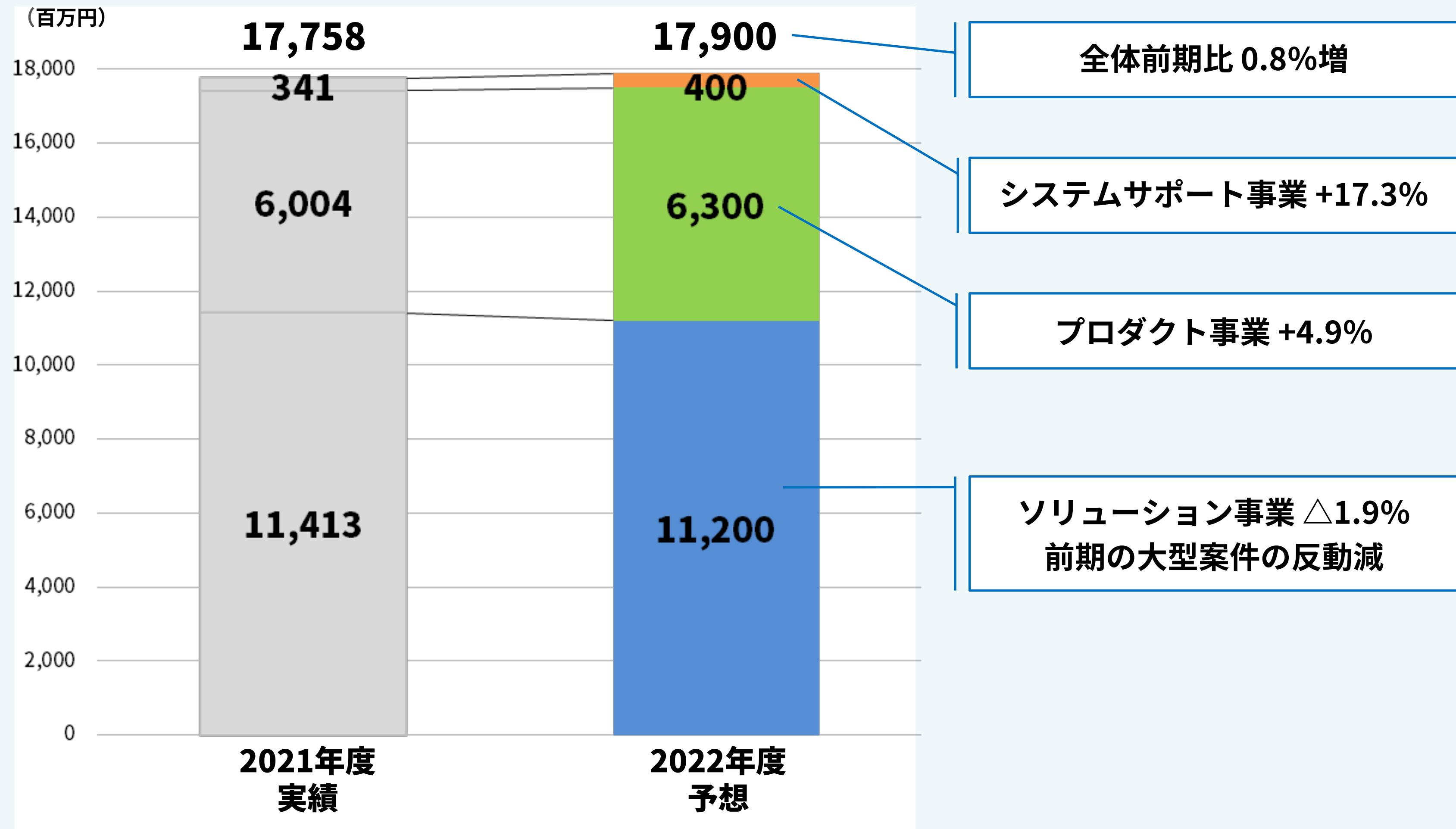
- プロジェクト採算性向上、およびライセンス販売が計画を上回ることにより、売上総利益は計画比増の見込み
- 販売促進・営業活動の強化により、販管費は上期より下期増加の見込み

損益の予想（前期比較）

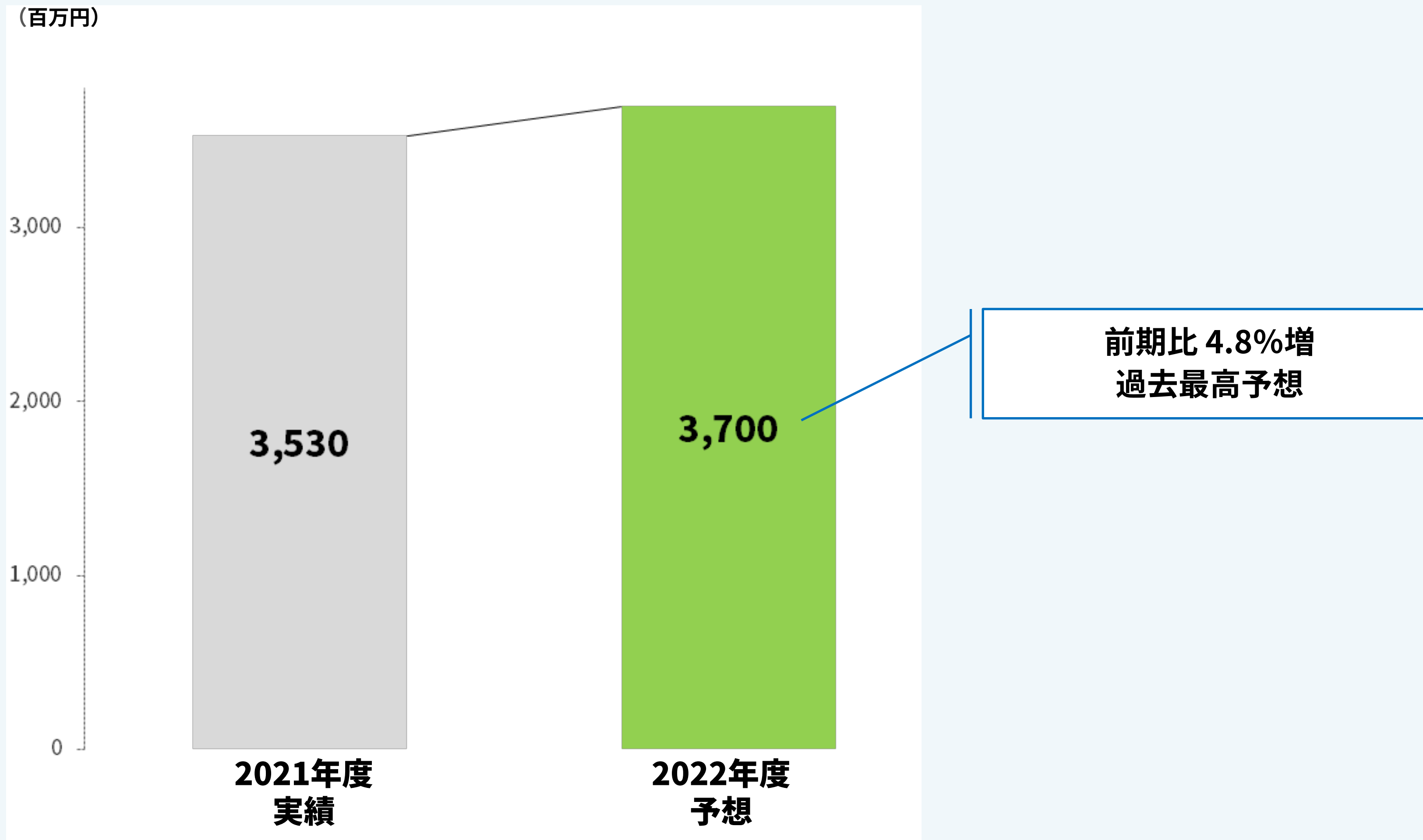
(百万円)	2022年度予想	2021年度実績	差異 (増減率)
売上高	17,900	17,760	139 (+0.8%)
売上総利益	6,790	5,882	907
売上総利益率	(37.9%)	(33.1%)	(+15.4%)
営業利益	3,000	2,412	587
営業利益率	(16.8%)	(13.6%)	(+24.3%)
経常利益	3,000	2,443	556
経常利益率	(16.8%)	(13.8%)	(+22.8%)
当期純利益	2,100	1,643	456
当期純利益率	(11.7%)	(9.3%)	(+27.8%)
受注高	18,000	17,912	87 (+0.5%)
配当（単体）	60.0円	42.0円 [※]	+18.0円
ROE	25.4%	23.8%	+1.6%

※ 2021年度実績は、2022年6月1日付の株式分割調整後の実質配当金額

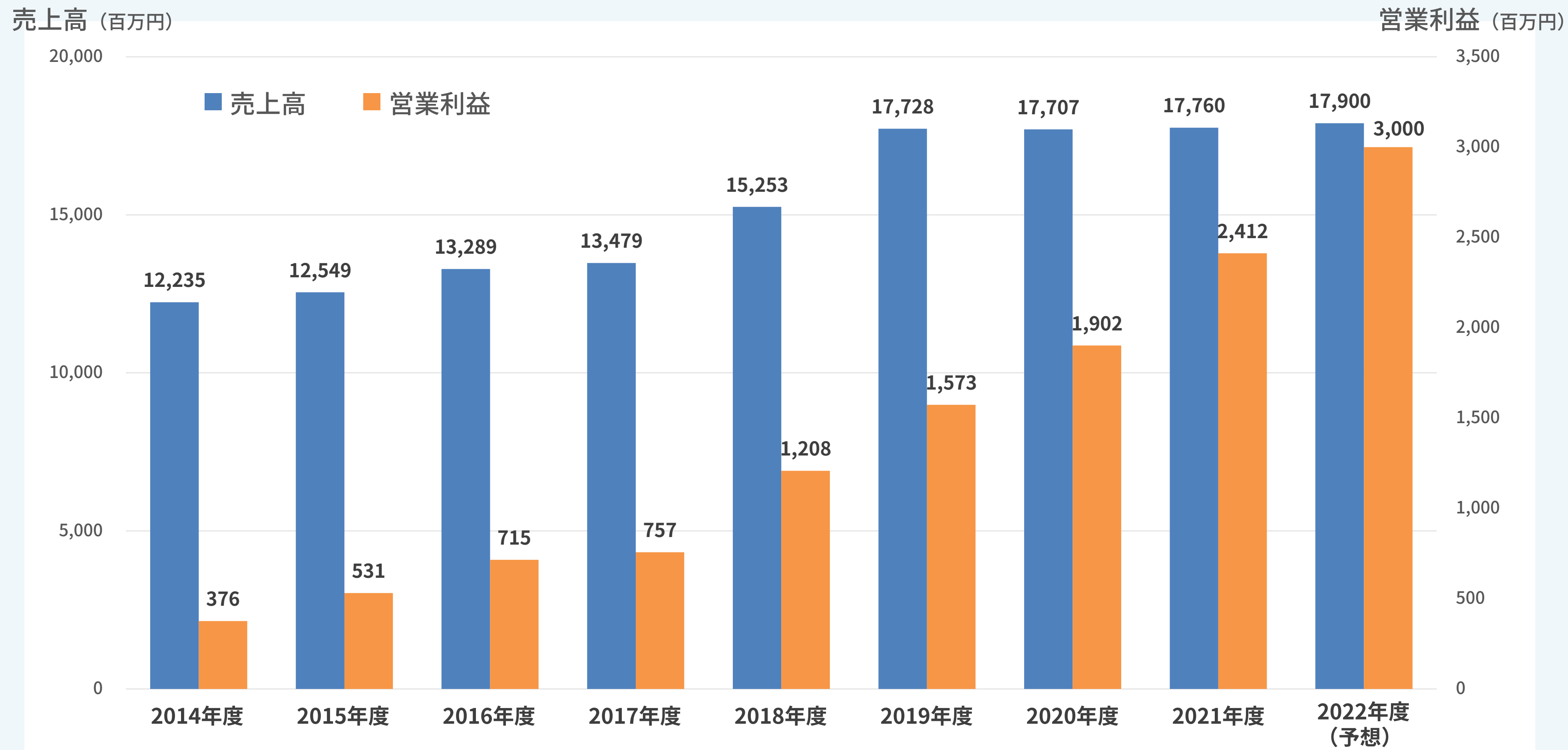
売上高の予想（前期比較）



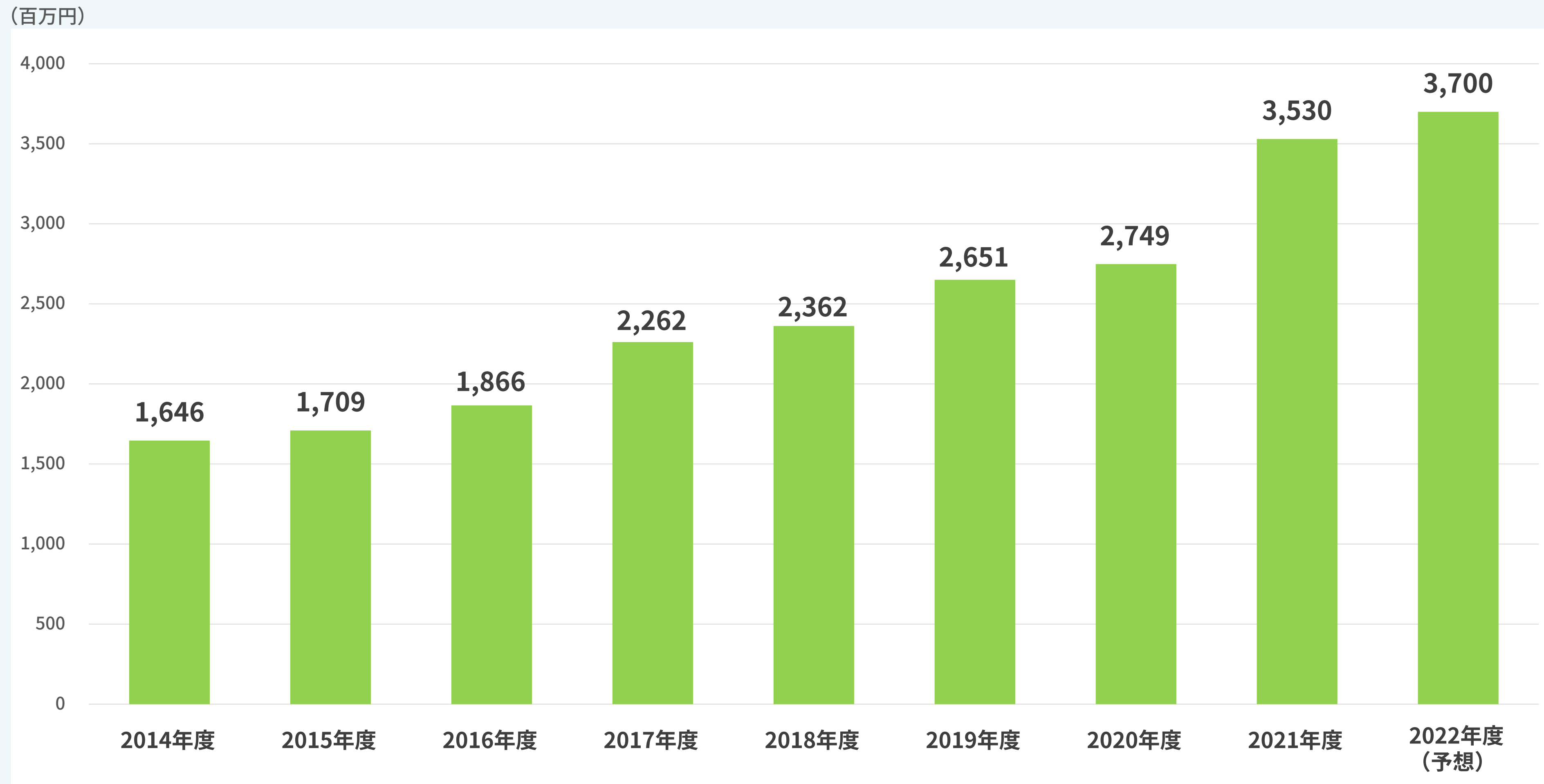
mcframeライセンス売上高の予想（前期比較）



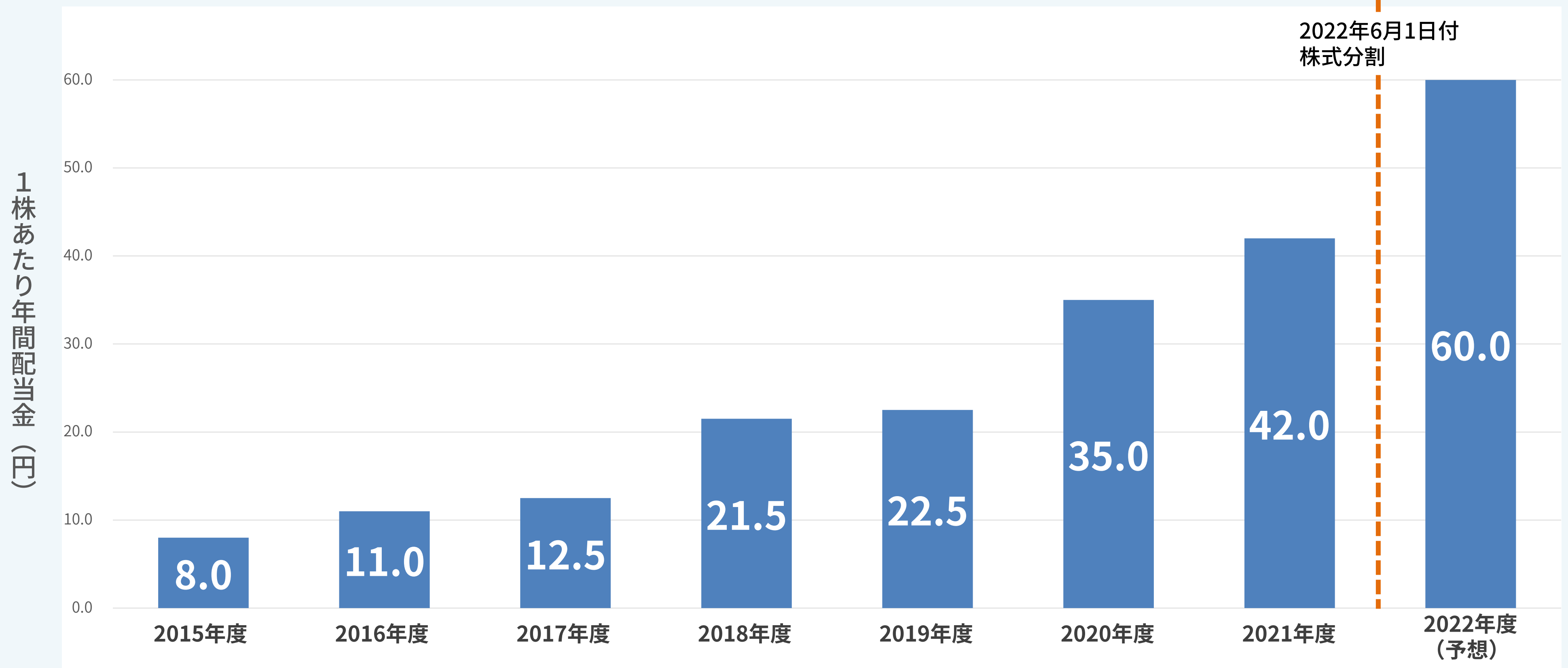
売上高と営業利益



mcframeライセンス売上高



配当は直近8期連続で増配予定



※ 2021年度以前の実績は、2022年6月1日付の株式分割調整後の実質配当金額を表しています。

経営Vision 2026の戦略

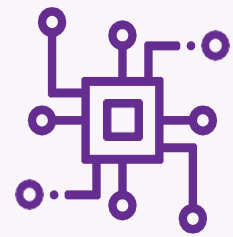
環境変化 × B-EN-Gの強み = 2026年に向けた戦略

環境の変化に対し、当社が持つ強みを活かした製品・サービスを展開する。



① 「ものづくりデジタルイゼーション」の深化

ものづくりデジタルイゼーションによる業務効率化のためのDXを推進し、製品・サービスの最適な提供を図る。



② 「変革のためのDX」への進化

顧客のビジネスモデル変革を支援すると共に、あたらしい形のビジネス創出により自社のビジネス変革を図る。



③ グローバル支援の拡大

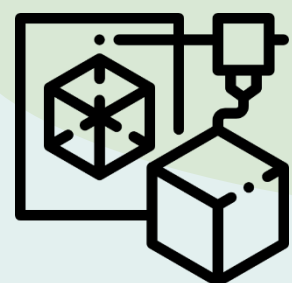
日系製造業のグローバル展開を継続的に強化し、ビジネスの拡大を図る。



製造業のサステナビリティを「支える」製品・サービスを提供 — mcframeの環境ソリューション —

mcframe PLM

製品企画・設計段階で
製品別の炭素量を把握



mcframe 7 PCM

mcframeの原価計算機能を
応用した環境負荷計算のしくみ



mcframe 7



mcframe IoT

環境関連データの
実測とモニタリング



mcframe COCKPIT

環境負荷を可視化し、
分析・評価を行う



ものづくりのためのmcframeだからこそ提供できる、
ものづくりのための環境ソリューション



「製造業特化型ビジネスプラットフォーム」への進化を目指す — mcframe SaaS対応版 —

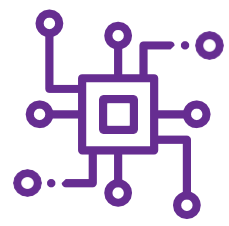
mcframe
SaaS

企業規模・システム導入のパターンに応じて、
既存のモデルとの組み合わせで柔軟な導入が可能

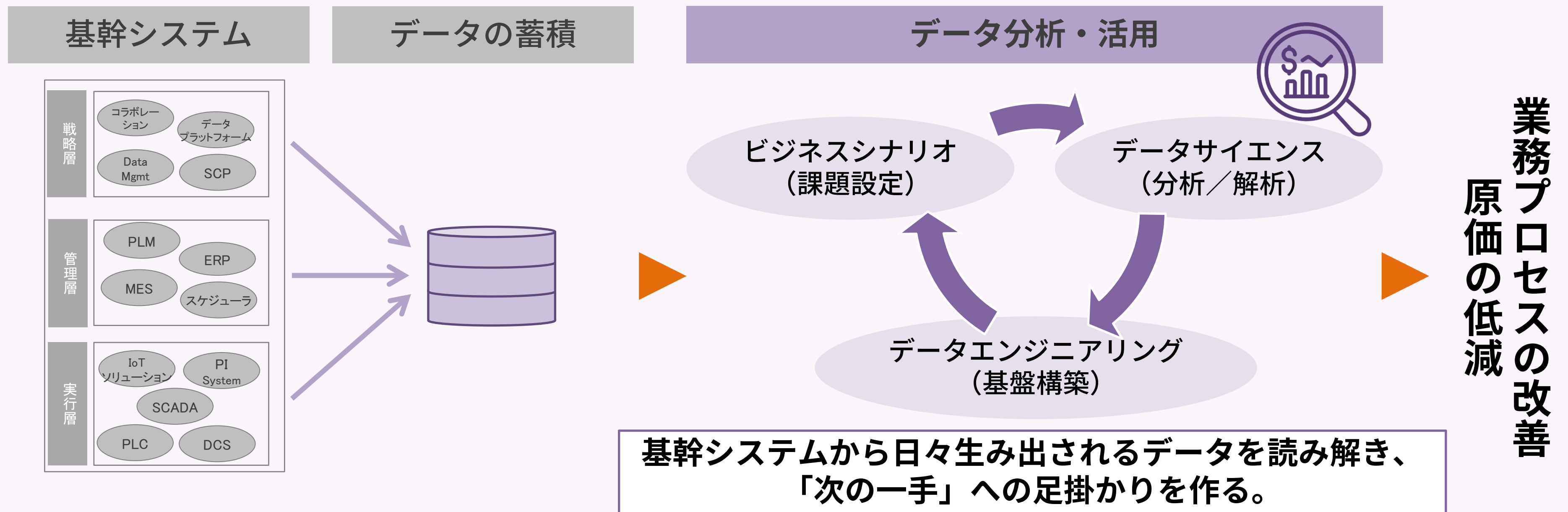
mcframe GA（グローバル会計）との組み合わせで、
よりスピーディなグローバル経営を実現

mcframeのファミリー製品との連携により、
利便性の高い総合的なサービスを提供

ものづくりのための国産パッケージとして**市場に新たなポジション**を確立する



システムの導入後に生まれる資産（データ）を価値にする新しいビジネス — データセントリック型ビジネス —



システムの導入後に生まれる価値を、**ものづくり企業の更なる成長につなげる**



mcframeシリーズ グローバル導入社数
1,500社を突破



日系企業のグローバル展開をITで支えるビジネスを推進

経営Vision 2026 達成目標

(連結)	2020年度実績	2022年度予想	2026年度目標
売上高	177 億円	179 億円	220 億円
営業利益	19.0 億円	30.0 億円	32.0 億円
当期純利益	12.8 億円	21.0 億円	21.1 億円

b-en-g

<注意事項>

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。